

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	ドームシアター運営事業	会計	一般会計	事業No.	823	施策順No.	29-011
事業種別	政策・その他	予算科目		10-5-6-10-4			
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり	課等名		美術博物館			
施策	29 ふるさと意識の醸成	事業期間	開始	22	終了		

1 事業の目的

事業の目的 は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象 誰、何に に	飯田下伊那の住民							A:十分達成した B:どちらかといえど達成した C:どちらかといえどで きてない D:ほとんど達成でき ていない
		具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
事業の目的 は「対象」を「意図」した状態にすることです	意図 対象を どう変 えるか	飯田下伊那の住民(人数)				177000	177000	A	
		ふるさとの自然・文化・星空・景観のすばらしさを学び、地域を大切にする心を育む							
22年度の目標達成度 に対する振り返り 【政策的事業のみ評 価】	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度 実績	20年度 実績	21年度 実績	22年度 目標	22年度 実績	23年度 目標	目標達成度	
		シアター観覧者数			1000	1369	20000	A	

アンケートによると、臨場感あふれる動画の投影や、地域の良さを紹介するオリジナル番組および星空の投影が市民に肯定的に受け入れられている。ただし、オープニング無料投影期間中の観覧者数のため、次年度以降も市民の声をよく聞く必要があると考えている。

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度 (仕組み)説明	ドームシアターは、プラネタリウム機能に臨場感溢れる全天映像投影機能が新たに加わったシステムである。子どもから大人、地区住民から観光客・行政視察等の幅広い層に対して、地域学習・飯田市紹介などへの積極的な事業展開をはかる。また子どもたちなどに対する天文教育・情操教育を、よりニーズにあつた形で実施する。						
	1 オリジナル番組作成 *22~24年度に重点的に実施し、番組数を増やして制作方法を学ぶ。 ・地域学習および観光番組作成(和歌山大学との共同事業) 2 番組投影 *23年3月26日オープン、23年3月28日からオープン記念無料投影、5月7日から通常投影開始 ・一般投影(定時の投影)、・団体投影(申込みによる随時投影) 3 その他 ・オリジナル新番組公開などのドームイベント、プラネタリウムコンサートや各種シンポジウムなどを開催する。 ・広報活動を強化する。						
	事業内容			名称		活動量・単位	
22年度 事業内容	1 オリジナル番組作成(和歌山大学との共同研究事業) (1)遠山地域の自然と文化および観光に関する番組作成(合併特例補助金対象事業) 「しづく高原の四季ー秋・冬」「霜月祭り」「御池山隕石クレーター」「遠山谷の自然ー鳥」「遠山谷の自然ーチョウ」の5番組を作成した。 (2)地域学習素材等の収集・撮影 遠山の山々、遠山のジオサイト、遠山の埋没林などの静止画素材を収集。 2 オープン記念行事 23年3月26・27日にオリジナル新番組公開とドームを紹介する講演会を実施した。 3 番組投影 3月28日からは「遙かなる銀河へ」「エコとロジー」「宇宙ベンギン」「遠山の自然と文化」のオープン記念投影(5月5日まで無料)を実施した。			1 制作する番組 2 投影回数(一般投影のみ)	1 5点 2 28回		
23年度 実施計画	1 オリジナル番組作成(和歌山大学との共同研究事業) (1)遠山地域の自然と文化および観光に関する番組作成(合併特例補助金対象事業) 「遠山谷の自然シリーズ」などを番組にする。 (2)飯田紹介番組、美田春草番組作成 さまざまな観察に対応できるように、リンゴ並木、柿すだれ、天龍峡など飯田市を紹介する番組を作成する。また、特別展に合わせ美田春草作品を紹介する番組を作成する。 2 番組投影 土・日・祝・長期休み中は市民向けに毎日5回投影を行い、平日は3回の予約投影と2回の市民向け投影を行う。4月1日から5月5日までは、オープン記念無料投影を実施する。5月7日以降は新しい観覧料のもとで通常投影を実施する。 3 ドームイベントなどの多目的利用 年度末頃にドームイベントを開催し、宇宙に関する講演や新たに制作したオリジナル番組の公開を行う。また市民の意見を聞きながら多目的な利用をはかる。			1 制作する番組 2 投影回数(一般投影のみ)	1 4点 2 490回		

3 事業コスト

事業費	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財 源内 訳、補 足事項 〔22特定財源〕(県)市町村合併特例交付金 〔23特定財源〕(県)市町村合併特例交付金(そ)使用料
	国庫支出金				
	県支出金	17,570	17,591	5,500	
	起債				
	その他			736	
	一般財源	7,116	6,828	11,778	
	計 (A)	24,686	24,419	18,014	
正規職員所要時間					
臨時職員等所要時間					
人件費計 (B)		0			
トータルコスト A+B		24,419			

4 事業に対する市民や議会の意見

・2回のドームイベントのアンケートによると、「さくらさくら」などオリジナル番組やデジタルプラネタリウムの機能を生かしたダイナミックな特別番組を期待する声が大きかった。
・一般番組を観覧した親子層では料金据え置きの希望が多かった。一方、「いいのちの星の詩」など特別番組を観覧した市民は300~600円でも観覧する割合が50%ほどあった。
・市民向けオープン記念事業ではプラネタリウム更新と新しい取り組みについて概ね肯定的におられれている。料金改定においても今のところ苦情はない。

5 行財政改革の取組内容【経営的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	1 地域を知る 2 地域を誇りに思う	施策の成果指標又はムース指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人數) 1 故郷(飯田)を誇りに思っている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	オープン記念行事およびオープン記念無料投影で、多くの市民がシリーズ「遠山の自然と文化」のオリジナル番組を観覧した。アンケートでは概ね肯定的に受け止められ、地域の自然と文化を再認識する機会になっている。		
	後期に向けた課題	地域を紹介する良質な番組を継続的に制作していくためには、オリジナル番組を制作する予算、人的体制およびノウハウの蓄積が課題である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り	和歌山大学と共同研究を実施し、オリジナル番組を制作した。また、短期間で制作しなければならなかつたため、映像素材は購入や委託を重視した。		
	後期に向けた課題	オリジナル番組制作に向けての体制づくりが課題。		
コストを削減するためどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り	素材制作は、すべてを委託や購入によるのではなく、和歌山大学との共同研究の中で職員自ら制作することを追求してきた。しかし、短期間であったことと、人的配置が十分でなかつたため実現できていない。		
	後期に向けた課題	映像素材作成や番組制作のノウハウを蓄積することが課題。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	教育委員会の使用料改定指針にもとづき観覧料改定を行った。		
	後期に向けた課題	オリジナル番組は1本が短いことと政策的事業なので無料としているが、今後検討が必要かもしれない。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	今のところ多様な主体はできていない。		
	後期に向けた課題	新しいプラネタリウムの機能を考えると、天文愛好団体はもちろん、音楽や舞台演出に関わるさまざまな団体との連携が必要になる。また、番組制作においては、民間企業や市民研究団体との共同も検討したい。		
全体を通じて	4年間の振り返り	長年の懸案であったプラネタリウム更新がデジタルプラネタリウムという形で実現したことにより、活動の幅と可能性が大きく広がった。その分、従来の自然分野だけでなく美博全体で取り組む事業となつた。		
	後期に向けた課題	平成23年4月から担当(臨時職員)が一人増員され、事業も平成22年度途中から始まつたばかりなので、市民要望や行政需要をよくつかみながらあらゆる可能性を検討していきたい。美博だけでなく、市役所内の関係部署との連携関係の構築が必要である。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--